

地方における公共工事の入札契約方式に関する研究(中間報告)

九州共立大学 牧角龍憲

検討方針

1. 目的

- ① 九州における地方公共団体の「工事」および「業務」に関する入札契約方式のあり方を検討する。
- ② 公共事業縮小の中で、淘汰や平準化等に関する発注者の方向性を検討し、それに向けた入札契約方式を提案する。

2. 検討の進め方

- ① 発注者、受注者双方の立場で、「公共事業に対する取り組み姿勢」や「競争入札の現行制度」について、再評価を行う。
- ② 全国の良い事例、悪い事例を収集・整理し九州における望ましい制度を提案する。
- ③ 望ましい制度を実現するための障害、「例えば会計法からの制限等」を明確にし、実施に向けた戦略を具体化する。

入札結果の現況分析

北九州市

最低制限価格の事前公表なし、失格者数が多数
2500万円以上は一般競争=78件、以下は指名=132件
1億円以上は総合評価方式=20件

芦屋町

最低制限価格(H21年事前公表、H22年なし)、予定価格あり
2000万円以上は一般競争=2件、以下は指名=8件
最低制限価格入札者数が多数→くじ引き

九州地方整備局

予定価格、調査基準価格は事後公表
企業評価なしのWTO対象工事=12件
技術評価点満点取得者多数、落札価格=調査基準価格

北九州市における一般競争入札結果(H21、22) 全78件中
応札者数30者以上、失格者:最低制限価格を下回った者

	予定価格 (千円)	応札 者数	失格 者数	落札価格 (千円)	落札率 %	開札日
1	85,840	63	44	74,123	86.4	2010/7/6 10:07
2	48,900	51	6	40,695	83.2	2010/7/13 9:14
3	80,540	48	19	67,730	84.1	2010/7/6 10:17
4	81,600	45	0	68,146	83.5	2010/5/18 9:05
5	105,590	43	37	90,165	85.4	2010/3/16 9:05
6	68,680	40	12	57,368	83.5	2010/7/13 9:05
7	49,590	37	6	41,700	84.1	2010/3/16 9:29
8	81,670	36	21	68,398	83.8	2010/2/2 10:01
9	131,330	33	8	113,418	86.4	2009/11/10 9:15
10	90,830	32	7	75,900	83.6	2009/12/1 9:04
11	55,710	30	4	45,945	82.5	2010/2/2 10:18
12	64,490	30	0	52,880	82.0	2009/8/25 11:12

芦屋町における工事の競争入札結果(H21、22) 全13件
・最低制限価格(事前公表)の影響

	予定価格 (千円)	最低制限 価格 (千円)	落札価格 (千円)	応札 者数	最低制限 価格 者数	最低制限 価格の公 表	開札日
一般	191,527	153,222	153,222	27	24	事前公表	平成22年3月23日
一般	24,451	19,561	19,561	13	10	事前公表	平成21年8月5日
指名	8,783	7,026	7,026	8	1	事前公表	平成21年10月9日
指名	8,268	6,614	7,650	6	0	なし	平成22年5月20日
指名	5,948	4,758	4,758	5	2	事前公表	平成22年1月7日
指名	4,192	3,354	3,354	3	2	事前公表	平成21年9月3日
指名	3,033	2,426	2,426	5	5	なし	平成22年5月7日
指名	2,831	2,265	2,650	4	0	なし	平成22年5月20日
指名	2,120	1,696	2,007	3	0	事前公表	平成21年9月29日
指名	1,694	1,355	1,566	4	0	なし	平成22年5月24日

九州地方整備局におけるWTO入札結果(H21、22)

件名	応札者 数	予定価格 (万円)	調査基 準価格 A	技術評 価点 (最高)	同取 得者 数	落札価 格 B	誤差 (A-B)/A %
津奈木T	24	461228	395017	80	6	395800	0.2
葛原T南	23	312873	267924	80	3	269470	0.58
陣が峰T北	28	309433	264955	70	5	265780	0.31
差木野第一T	33	200342	170744	80	2	171765	0.6
北川第一T	35	140349	119108	70	16	119200	0.08
北川第一橋	21	132629	114030	62.7	1	115100	0.94
北川橋上部工	14	115698	99729	68.5	1	100370	0.64
年見第二T	25	98614	83349	70	3	83750	0.48
鶴山谷T	28	95438	80628	70	4	80930	0.37
高崎山地区改良	7	93258	80354	79	1	80400	0.06
黒崎高架橋	22	82205	70195	67	1	70300	0.15
北川第三T	34	80396	67785	70	3	68180	0.58

入札方式に関する取組みの現況

- 入札改革フォーラム
先進的な自治体関係者約150者が集まって、事例報告ならびに課題解決の意見交換会を開催。5年前から開始。
- 制限付き競争入札
手持ち工事制限
- 二段階競争入札(予選と決勝)
入札参加予定者が多数の場合、抽選して5～10者に選定。選定業者に公告図書を配布して入札
- 電子入札システムの導入
47都道府県および18政令指定都市はすべて導入済み
市町村は未導入あるいは導入の予定なしが大半

入札方式に関する課題

- 業者数が過剰
- 発注者の積算価格を予想するゲーム
- 配置技術者の束縛が過大
- 企業としての経営計画がたたない
- 発注者・受注者ともに疲弊
- CALS/EC、ISO、エコアクション対応の負担が過大
- モラルの低下 など